

中央博物館での体験活動

【中央博物館では、こんな体験活動ができます！】

□学校の団体利用（校外学習等での通常の見学活動の利用）

【見学所用時間：90分】



□体験プログラム（博物館のプログラムを使用しての利用）

①中央博調査隊（本館用）

本館展示室における見学活動のためのプログラムです。各展示室のシートを使って、調査してきた内容を博物館スタッフに報告し、解説を受けることを通して、展示資料に対する発見力とコミュニケーション能力を育成することができます。

【小学校中学年程度 所要時間：60分】



中央博物館
房総の生物編-1

いろいろなもようを探そう！
☆絵や言葉でかいてみよう。

しましま
みずたま
お気に入りのもよう

好きなもようにしてね。

年 月 日 名前： 隊員
千葉県立中央博物館

②森の調査隊（生態園用）

生態園における自然体験のためのプログラムです。1回1枚のシートを使って調査し報告することを通して、自然に親しむ活動です。この体験を生かして、他の季節や学校などの体験場所を変えて、発展的な活動につなげることも効果的です。

【小学生程度 所要時間：90分】



森の調査隊
さりの ちゅうさたい

に
しぜんの ふしきを みつけよう！
かたち、いろ、ああきさ、あと、にあい、なんでもいいよ。

あっ！ と、あもったこと ひとつ
へえっ！ と、あもったこと ひとつ
え？ と、あもうこと ひとつ

調査日 年 月 日 名前 隊員

□中学校職場体験

（生徒に職業観・勤労観を育むキャリア教育の一環としての利用）

①申請方法 博物館からFAX送信した「職場体験申請書」に必要事項を記入して返信

②受入内容 人数（1校3名まで）・体験期間（2日まで）

③留意事項 博物館の仕事内容に関心があり、博物館の資料（剥製等）に接しても支障がない生徒



III 中央博物館での学習活動

【見学学習から博物館学習へステップアップ!】



step①

見学学習【効果的な調査活動5つのポイント】(広い展示室での活用方法)

- ◇展示室の焦点化(自然・歴史・環境の中からテーマを設定して調べる。)
- ◇展示資料の焦点化(調査対象の展示資料をしぼって調べる。)
- ◇調査内容の役割分担(グループ毎に調査内容を決めて、分担して調べる。)
- ◇個人の活動時間の確保(活動時間を全体・グループ・個人で分けて調べる。)
- ◇展示室での教員の支援(展示室に教員を配置し、気づかせる発問や指示を行う。)



step②

学校主体の博物館学習(ねらいを明確にした学習活動による活用方法)

博物館学習とは、学校の教科・領域の学習内容と博物館の展示資料との関連性を持たせて、博物館で効果的な学習活動(展示資料による実感を伴った学習活動)を行うものです。

1. 教材研究で、事前に博物館を予察し、教科書との関連を分析して指導計画を立てる。
2. 事前学習で、問題意識(目的意識)を持たせる。(学習問題の設定・指導案の作成)
3. 博物館で課題解決をするためのワークシートを作成する。
4. 博物館ではワークシートを活用して、調査活動を行う。
5. 事後学習で、調査内容をもとにした発表活動を行った後に全体で話し合い活動を行う。
6. 調査内容を新聞等にまとめるなどの表現活動を行う。 ⇒「言語活動の充実」へ

学習過程における博物館活用の類型

☆学習のねらいによって、学習過程の中での「博物館学習」の位置づけが変わります。

①博物館活用A型【課題発見型】(導入段階)課題をつかむ。

【博物館学習→学習課題→調査→まとめ】

博物館での見学活動を通して、展示資料に対する子どもの興味関心を集約し、学習課題を設定する。

②博物館活用B型【問題解決型】(展開段階)課題を調べる。

【学習課題→博物館学習・調査→まとめ】

学校での学習課題を解決するために、博物館の展示資料を通して主体的に調べ活動をする。

③博物館活用C型【学習整理型】(終末段階)学習内容をまとめる。

【学習課題→調査→博物館学習・まとめ】

学校での学習内容を博物館での体験的活動等を通して整理することで、理解を深める。

④博物館活用D型【発展学習型】(発展段階)学習内容を広げる。

【学習課題→調査→まとめ→博物館学習】

学校での教科学習から発展したテーマや「総合的な学習の時間」の課題について博物館で調べ、学習内容を広げる。